

新たな路面公共交通システム「SRT」 について

■新たな路面公共交通システムの実現をめざして(SRT構想)平成31年1月 策定

- ・リニア開業を見据え、**都心部の回遊性向上や賑わいの拡大**を図るため、まちづくりと一体となった新たな路面公共交通システムの導入を検討
- ・「S R T」(Smart Roadway Transit) :技術の先進性による快適な乗り心地やスムーズな乗降、洗練されたデザインなどのスマートさを備えた路面を走る新しい移動手段



■ SRTのコンセプト

①みちの再生による都心の魅力向上

- ・公共交通が利用しやすく、歩いて楽しい道路空間に生まれ変わる
- ・快適にくつろげる待合空間が、まちの情報スポットになる
- ・SRTがまちの風景に溶け込み、歩道や沿道の建物と一体的な賑わいを生み出す

②地区間の連携を強化する基幹公共交通

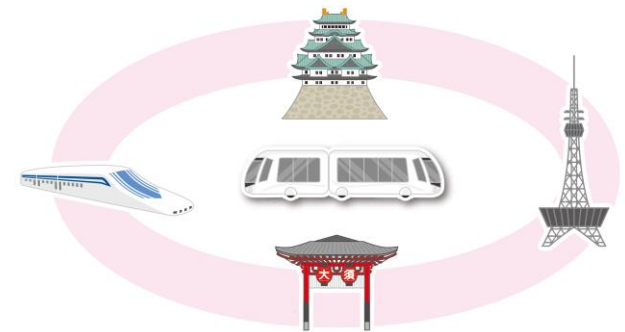
- ・行きたい場所まで迷うことなく、待たずに行くことができる
- ・鉄道などと便利に乗り換えられ、多くの人を運ぶことができる

③まちを訪れる人に新しい移動価値を提供

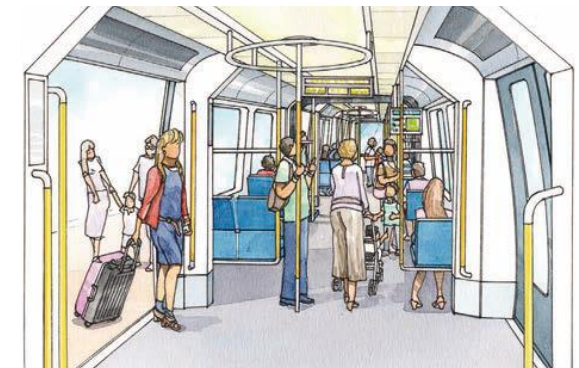
- ・まちの賑わいや移ろいを楽しみながら移動することができる
- ・ユニバーサルデザインが行き届き、誰もがストレスなく移動できる
- ・自動運転などの新しい技術で、乗り心地が良くスムーズに乗降できる



歩行者中心の賑わいある道路空間



わかりやすくつながる都心



スムーズな乗降や快適な乗車環境

■ システムの具体像

LRTやBRTの優れた点をあわせ持ち、車両、走行空間、乗降・待合空間や運行サービスが相互に連携し、一体的に機能するシステムを目指す

➤ L R T (Light Rail Transit)

- ・ 軌道に低床型の車両を取り入れた路面電車の進化版と言われるシステム

➤ B R T (Bus Rapid Transit)

- ・ 都心から郊外を結ぶバスレーンやP T P S、連節車両などを導入して輸送力、速達性を高めたシステム



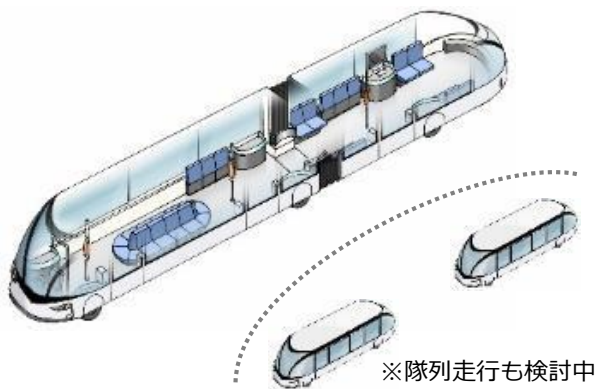
海外LRT(フランス・オルレアン)



海外BRT(フランス・ルーアン)

○車両

まちなかでの存在感やシンボル性があり、誰もが安心して快適に乗車できる先進的な車両を導入



○走行空間

道路利用者の安全性や利便性に配慮しながら、存在感があり、スムーズで快適な走行環境を創出



○乗降・待合空間

利用者がスムーズに乗降でき、快適に待てる空間とするとともに、歩道との一体性を高め、まちの情報案内機能を備えることで回遊性や賑わいを創出



■ 「都心部まちづくりビジョン」平成31年3月 策定

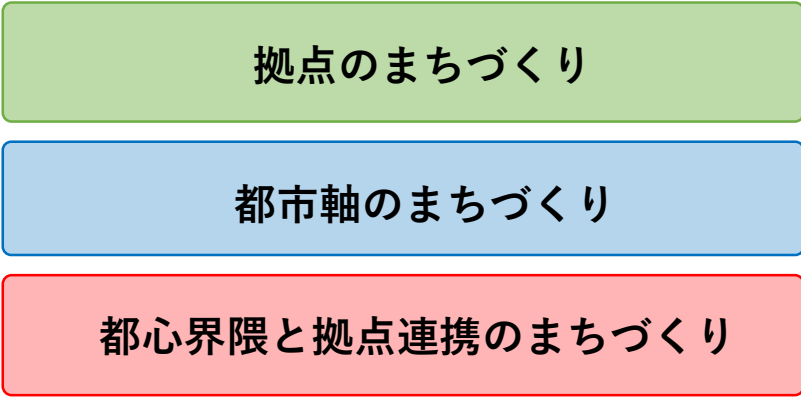
リニア開業を見据えて、行政と民間で共有できる名古屋都心部の将来像を提示



名古屋の都心は、2027年にリニア中央新幹線（品川・名古屋間）の開業を迎える予定であり、名古屋大都市圏の中核としての重要性がこれまで以上に増えることになります。新たな時代を迎えるにあたり、これからも魅力と活力にあふれた名古屋の都心であるために、そして名古屋大都市圏を超えてスーパー・メガリージョンのセンターとして日本の成長エンジンとなるためには、官民協働によるまちづくりへの取組みを速やかに進めていくことが必要となります。このため名古屋市では、行政と民間で共有できる都心部の将来像として、また、都心部を対象として策定された各種のまちづくり計画・構想を総括し全体の方向性を提示するものとして「都心部まちづくりビジョン」を策定することといたしました。また、本ビジョンの内容は、次期都市計画マスタープランの都心部部分に反映することを予定しています。

■ 都心部のまちづくりの方針とまちの将来像

- ＜方針1＞ 国際競争力の強化と民間投資を誘発する環境整備
（将来像）世界中から多様な人々を呼び込みイノベーションを創出するまち
- ＜方針2＞ 訪れたくなるまちを実現する都市魅力の向上
（将来像）快適な都市空間に訪れる人々の賑わいが広がるまち
- ＜方針3＞ 利便性とゆとりが両立した名古屋ライフスタイルの実現
（将来像）ゆとりを楽しむ名古屋ならではの洗練された都市生活を満喫するまち



■ 都市軸のまちづくり

幹線道路と沿道のまちづくり

名古屋都心のシンボリックな通りを人に優しく歩いて楽しいみちへ道路空間の再配分

沿道の民有地と一体となった快適な都市空間の整備による賑わいが連続した街並みの形成



- 車道から歩道への空間再編や次世代型公共交通への対応
- 歩道におけるベンチなどのストリートファニチャーの設置による歩行者の快適性向上 など

河川・運河沿岸のまちづくり

堀川・中川運河などの環境整備・水辺空間の魅力向上

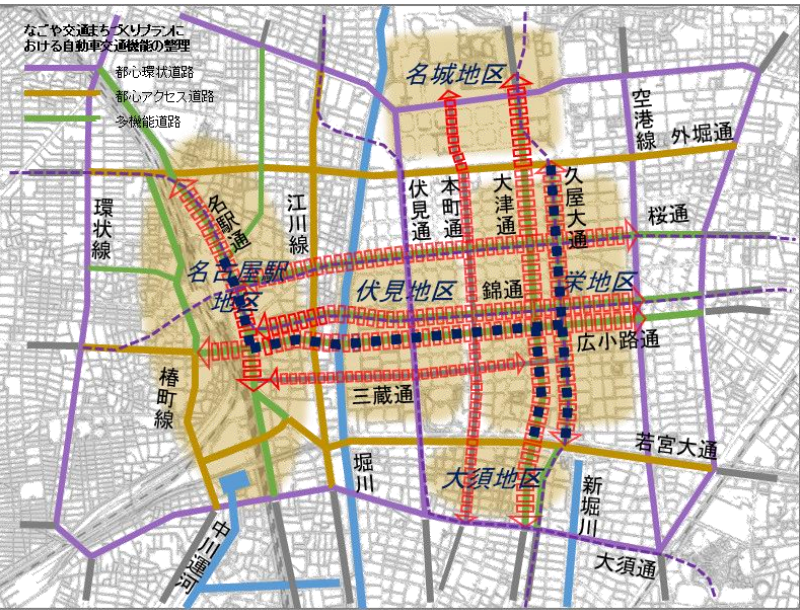


- 河川・運河側に向けた店舗配置
- 水質の浄化による環境向上 など

道路・水辺での一体的な取組み

- デザイン誘導などによる良好な街並み・ファサードの形成
- 地元まちづくり団体との連携強化、エリアマネジメント活動の支援

都市軸のまちづくりの推進により、各拠点の賑わいを都心部に展開し、都心部内の各エリアを結びつけることで、名古屋の都心部を一体的な構造へ



個性的で多様性ある都心部を実現するための主たる都市軸の将来像

賑わい交流軸		水辺空間軸	
広小路通	～名古屋都心を象徴する東西軸～	堀川・中川運河	
名駅通	～名古屋の顔となる駅前の交流軸～	～都心の水の賑わい軸～	
久屋大通	～緑豊かな開放感溢れる南北軸～		
大津通	～トレンドの先端をゆく魅力発信軸～		
桜通	～ターミナル駅の正面に位置する景観軸～		
本町通	～名古屋城下町の歴史を辿る回遊軸～		
三蔵通	～起業意欲と感性を刺激する創造軸～		

都心部まちづくりビジョン③

拠点連携のまちづくり

各拠点の持つ機能を有機的に結びつけることで都心部内の回遊性を高めるとともに、都心全体の都市機能を相乗的に向上

あわせて、歩きやすい道路整備に加え、既存の公共交通の利便性向上、新たな路面公共交通システム等により、手軽に利用できる移動手段を確保

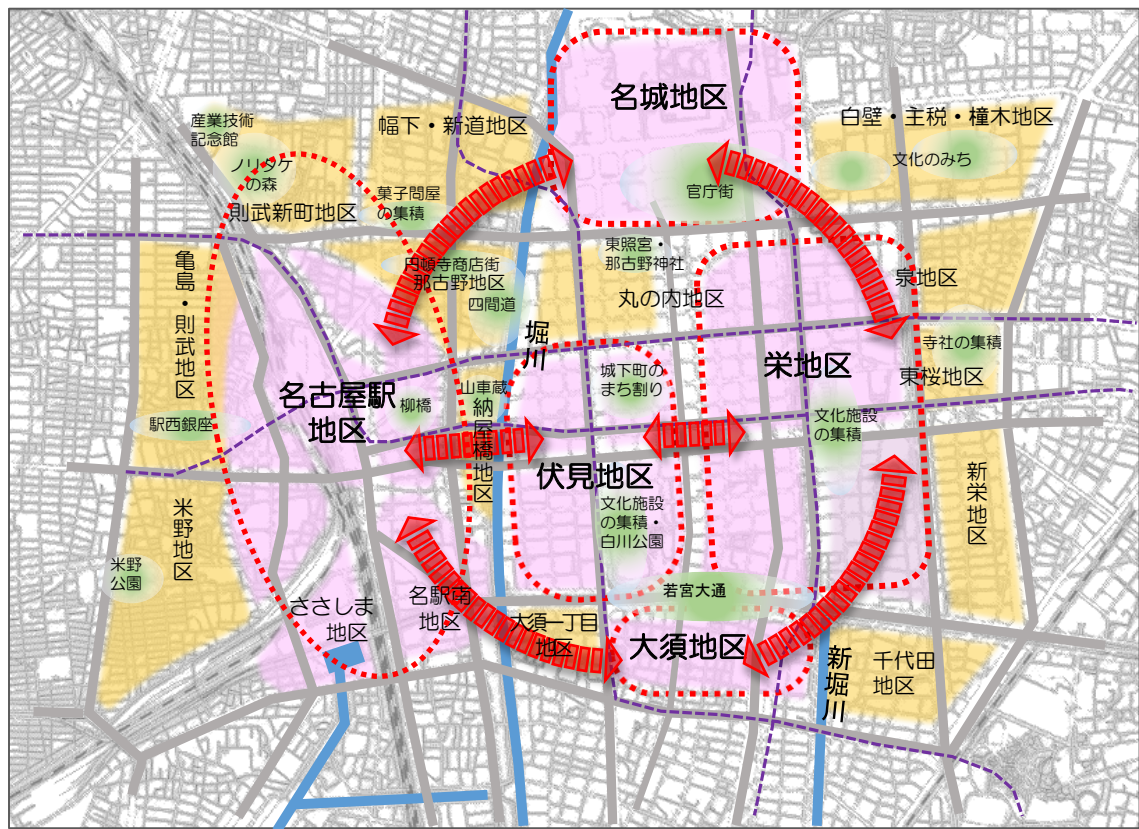
都心部界隈のまちづくり

都心部界隈は、各拠点や幹線道路沿道に比べると比較的低利用ながら、歴史性や下町の風情など独自の個性・魅力を保全・開拓することで、都市の多様性を向上

あわせて、エリアマネジメント等の地域のまちづくりを積極的に支援



界隈の魅力向上



拠点



拠点

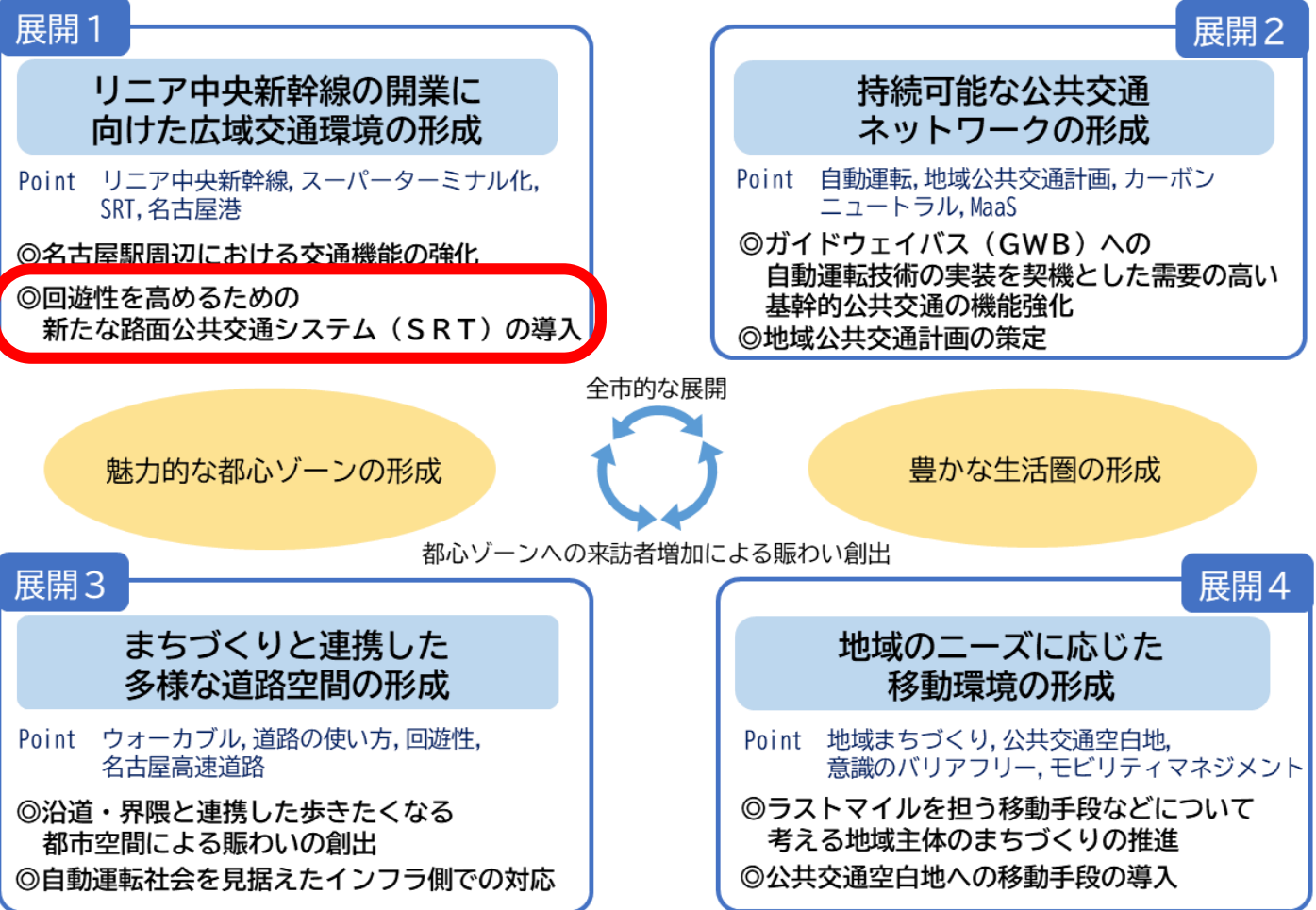


地域資源の活用

■「名古屋交通計画2030」令和5年3月31日 策定

最先端モビリティ都市～誰もが快適に移動するために～

名古屋大都市圏における中枢都市として、既存ストックと先進技術の活用により、リニア中央新幹線とシームレスにつながる持続可能で質の高い公共交通ネットワークが形成されるとともに、さらなる技術の活用による快適でスマートな移動環境が実現した都市

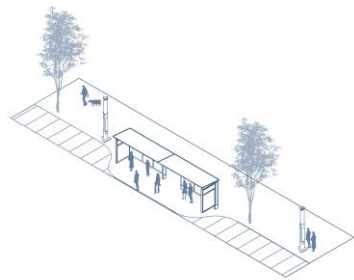


■ 回遊性を高めるための新たな路面公共交通システム「SRT」の導入

早急に実施する重点的な取組として「SRT」を位置づけ、段階的な導入を図る

1 当初運行時

- 都心の中で特に移動が多い名古屋駅-栄間の「東西ルート」からSRTを導入
- 周辺で大型の開発が進み、沿道に店舗などが集積している広小路通において、外観のシンボル性や車内の快適性を備えた連節バスを運行
- 停車車両等の影響を受けにくく、賑わいの拡大につながるテラス型の乗降・待合空間を検討

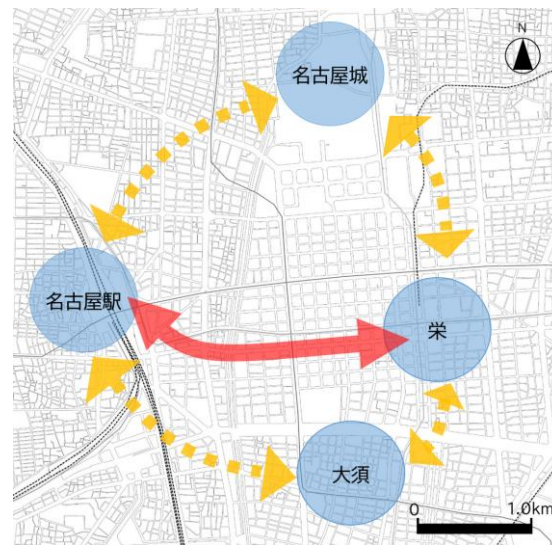


出典: NACTO Blueprint for Autonomous Urbanism

《当初運行時のルート及び車両、乗降・待合空間のイメージ》

2 アジア・アジアパラ競技大会開催時

- 国内外から多くの来訪者があることを見据えて、当初運行ルートでの効果や課題を検証しながら、事業規模の拡大を検討し、名古屋駅駅前広場の整備状況にあわせた発着や、「周回ルート」の一部実現を目指す



《運行ルートの拡大イメージ》

3 リニア開業以降

- リニア中央新幹線開業時には、来訪者など多くの方が名古屋駅からSRTを利用し都心部の各拠点へ快適に移動できるように導入を図る
- 先行して導入したルートでの効果や課題を検証しながら、最適な都心部周回ルートの形を目指す

◆R4社会実験(体験乗車)の概要

- 【日 程】令和4年9月3日(土)、9月4日(日)
 【車 両】連節バス(岐阜乗合自動車から借用)
 【内 容】一般モニターの体験乗車・意向調査、交通影響等の検証
 【一般モニターの参加状況】
 ・2日間で延べ約600名が乗車
 ・子ども連れから高齢者まで幅広い世代が参加



【走行ルート】往路(名駅→栄)・復路(栄→名駅)とも各日4便、計16便



① 体験乗車モニターアンケート



体験乗車参加者(回答:228人)

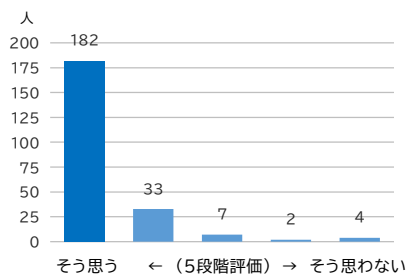
連節バスと路線バスの比較や、今後の利用意向について

- ・連節バスに関しては、概ね良好な評価
- ・自由回答では、SRTに期待する回答の一方で、交通渋滞を懸念する意見など

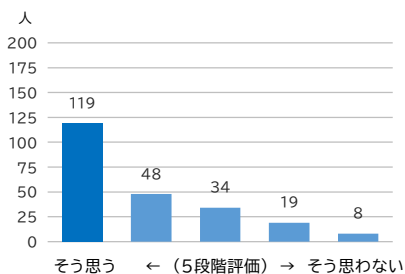
(自由回答)

- ・上下移動がなく楽に移動ができそう
- ・街のアイデンティティやシンボルとして活躍してほしい
- ・SRTの導入による交通渋滞が心配、また定時制が確保できるか
- ・休憩できるようなバス停があるといい

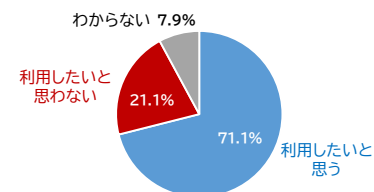
Q 普通のバスと比較して
見た目が目立つと思いますか



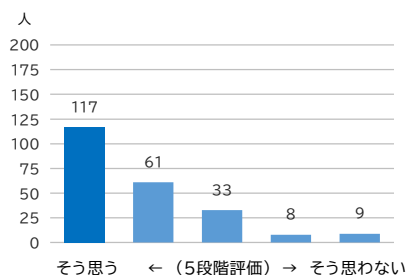
Q 普通のバスと比較して 車内に
ゆとりがあり広々としていると思いますか



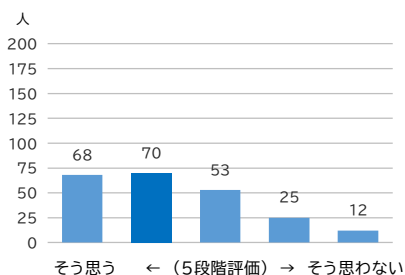
Q 普通のバスと比較して
連節バスのほうが利用したいと思いますか



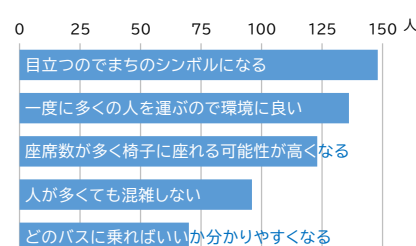
Q 普通のバスと比較して
連節バスは乗っていて楽しいと思いますか



Q 普通のバスと比較して
揺れが少なく快適だと思いますか



Q 連節バスの優れているところは
(複数可)



② 沿道の歩行者へのアンケート

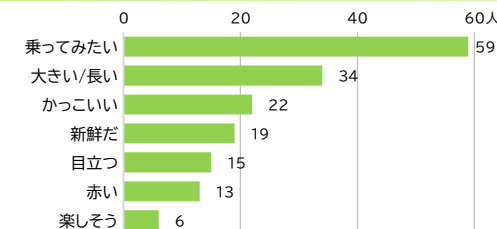


連節バスを見かけた沿道の歩行者(回答:133人)

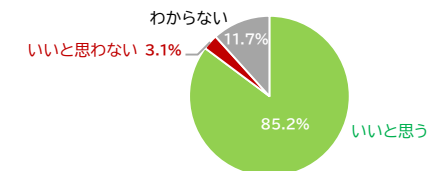
連節バスを見た感想や、今後の利用意向について

・概ね良好な評価

Q 連節バスを見てどう思いましたか(複数可)



Q 都心にこういう(連節)バスが走るといいと思いますか



Q 都心内の移動に連節バスを使ってみようと思いますか

